

所 属	健康福祉部 保健医療課
担当(係)名	母子・特定疾患担当 内線 2546

## 新 周産期医療体制の充実

< 地域医療再生臨時特例基金事業 >

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
210,721	国庫 79,207	負担金、補助及び交付金 207,781
(前年度 8,260)	一般財源 131,514	

### 2 背景・現状

平成20年2月に総合及び地域周産期母子医療センターの指定を行い、同時に岐阜県周産期医療協議会でとりまとめた妊婦救急搬送マニュアルの運用を開始し、妊婦や新生児の救急搬送をいずれかの周産期母子医療センターで必ず受け入れる体制を確保している。

しかしながら、24時間体制の医療体制をより充実させるためには、医療スタッフの確保や高度医療を提供するための設備整備に取り組み、周産期母子医療センターの機能を強化する必要がある。

### 3 事業目的

安心して妊娠・出産ができる岐阜県を目指し、より高度な医療を必要とする妊婦、新生児の医療を確保し、搬送体制や周産期医療ネットワーク機能を強化をするため、新たに地域周産期母子医療センターに対するNICU（新生児特定集中治療室）の運営支援を行うとともに、三次・二次周産期医療機関における設備整備の支援を行う。

また、周産期関係者の技術向上のための講習会を開催することで、周産期医療体制の充実を図る。

### 4 事業概要

新総合・地域周産期母子医療センターの運営支援（77,005千円）

- ・周産期母子医療センターにおける医療体制強化のため、母胎・胎児集中治療室等の運営に要する経費を助成する。

新小児・周産期医療施設における設備整備等を支援（123,516千円）

- ・三次・二次周産期医療機関における医療設備等の整備を支援する。

新生児蘇生法の普及（10,200千円）

#### 三次周産期医療機関

総合周産期母子医療センター：岐阜県総合医療センター

地域周産期母子医療センター：長良医療センター、大垣市民病院、県立多治見病院、高山赤十字病院

周産期医療支援病院：岐阜大学医学部附属病院、岐阜市民病院

#### 二次周産期医療機関（周産期医療協力病院）

岩砂病院第一（岩砂マタニティ）・平野総合病院・松波総合病院・中濃厚生病院・木澤記念病院

郡上市民病院・中津川市民病院・県立下呂温泉病院

（款）4 衛生費（項）4 保健予防費（目）(3) 母子保健指導費  
（明細書事業名） 母子医療対策費

総合周産期母子医療センター運営事業費補助金

小児医療施設・周産期医療施設設備整備事業費補助金 等